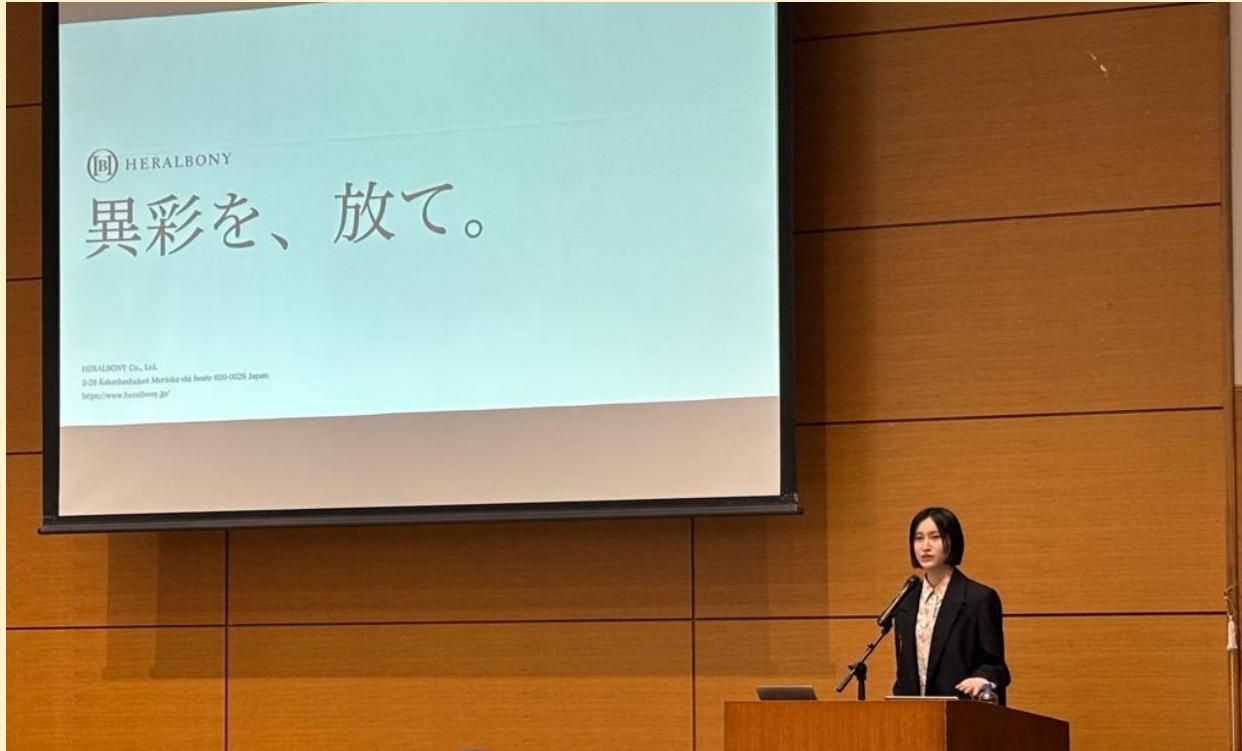


第1部講演

アートで変革「異彩を、放て。」 ～“協働”から生まれる新しい文化～



【講師】

株式会社ヘラルボニー 広報室 安藤 奈穂氏

<講師プロフィール>

Naho Ando

安藤 奈穂

ヘラルボニー広報室 真マネージャー。

前職では株式会社USENのセールスとして美容サロンの店舗開業支援に従事。

6つ上の姉が指定難病のレット症候群であったこと、「違いを認める」社会を目指す両代表の想いに共感し、ヘラルボニーへ転職。

ヘラルボニーの思想や作家の異彩を社会に届けるべく、企業広報のほか、自社ブランドHERALBONYのPRも担う。



《講演資料》



Mission 企業理念

異彩を、放て。 Radiate Your Color

知的障害。

その、ひとつくりの言葉の中にも、無数の個性がある。

豊かな感性、繊細な手先、大胆な発想、研ぎ澄まされた集中力・・・

“普通”じゃない、ということ。それは同時に、可能性だと思う。

彼らは、この世界を隔てる、先入観や常識という名のボーダーを超える。

そして、さまざまな「異彩」を、さまざまな形で社会に送り届け、福祉を起点に新たな文化をつくりだしていく。

©2022 HERALDONY Co., Ltd.

About HERALBONY

知的障害のある作家の アートエージェンシー。

「異彩を、放て。」をミッションに、福祉を起点に新たな文化の創出を目指す、福祉実験カンパニー。国内外の主に知的障害のある作家とライセンス契約を結び、アートをプロダクト化するライフスタイルブランド「HERALBONY」の運営をはじめ、さまざまな形で異彩を社会に送り届け福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。



BRAND

© DODD LUDWIGSON GALLERIES

★作家と企業をつなぐ「ライセンス」という共創モデル

『講演資料』

■ Artists

69の施設
276名の作家

69 facilities 276 artists



アトリエプラヴォ／福岡

PICFA／佐賀

わかたけアート／沖縄



アトリエやっほう!!／京都

スウィング／京都

あいアイ美術館／埼玉
HAP-lab／広島
からふる／鳥取
希望の園／三重
やまなみ工房／滋賀
さぶらん生活園／愛知
のぞみの家／東京
自然生クラブ／茨城
はじまりの美術館／福島
多夢多夢舎中山工房／宮城
るんびにい美術館／岩手
愛灯学園／北海道

*2025年7月1日時点

© 2025 HERALBONY Co., Ltd. All Rights Reserved.



HERALBONY

支援やチャリティーではない
対等で持続的可能なビジネスモデル

作家がいてこそビジネスが成り立つ
「逆転の支援構造」！

『講演資料』

★企業コラボが生む、日常への浸透。



「スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社」



「日本航空株式会社（JAL）」



「東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）」



「株式会社コーチェーホールディングス（K O S E）」

『講演資料』



岩手異彩化



©HERALBONY Co., Ltd.

ヘラルボニー初となる
アートラッピングバスが
盛岡のまちの景色を彩る。

2023年10月10日運行開始



ヘラルボニーが目指すのは「美しい」ただそれだけではありません。「ヘラルボニーだから大丈夫」と個性を受け入れやすい空間をつくり、利用される方々の心のハードルを下げることも重要だと考えています。そこで、運行開始前にはヘラルボニーバスが「もっと優しいバス」になるためには何が必要か、盛岡市の中学生に課題や解決策を提示してもらう特別課外授業も企画しました。全世代の方が、バスの利用について改めて考えるきっかけに。



地域に新たなツーリズムを創出し
異彩×観光をさらに推進していく。

-JR釜石線の全面アートラッピング列車-

2023年10月から約2年間、アートをデザインに施したラッピング列車を県内の主に釜石線花巻-釜石駅間と東北線花巻-盛岡駅間で走行。岩手らしさや東北の豊かな自然が連想できるとして選ばれた陸前高田市の作家・田崎飛鳥が描いた「森の道・赤い森」「森の道・青い森」が、旅行客の思い出と地域を彩ります。



■これまでの共創の取り組み



全国放送に取り上げられる中でも、"岩手"を起点とした取り組みを伝え続けています。

©2024 HERALBONY Co., Ltd. PROPRIETARY & CONFIDENTIAL

～新しい1歩を踏み出す時は、本拠地・岩手から始める～

«講演資料»

愛媛県内の企業とも協働！



ユナイテッドシルク株式会社



2024年夏、パリに子会社を設立。
初の海外進出で最高品質のスカーフを
現地で披露した！

『講演資料』

才能は、
披露してはじめて、
才能になる。



「障害」 = 欠落
「障害者が作った」 = 安い
を変える。

We will change the stereotype of

“Disability” = Lack

“Products made by people with disabilities” = Cheap

アートを見て、
美しいと感じる経験から
作家への尊敬が生まれる。

支援すべき存在
→ リスペクトする存在へ

★障害に対する社会のイメージを根本から変えていく！



『講演資料』

作家やアートの価値をどうやって「正当」に伝えるか？

1. 「障害者」という言葉を使わない

例：障害者の自立支援をするヘラルボニー



2. 洗練された空間、ビジュアルにこだわる



ブランド展示会「HERALBONY ISAI Exhibition」（2024年）

ヘラルボニーが大切にしているワーディングスタンス

あえて「障害」を表記することについて

「障害」という言葉については多様な価値観があり、それぞれの考え方を否定する意図はないことを前提としたうえで、ヘラルボニーでは「障害」という表記で統一しています。「障」という文字を使って用いて表記する理由は、社会側に「障壁がある」という考え方に基づいているためです。

「障害」という概念は、主として「個人モデル」と「社会モデル」の2つの観点から定義されています。障害の原因はインペアメント（=心身の機能障害）にあるとし、障害の負担が個人に押しつけられてしまうのが「個人モデル」であるのにに対して、障害をインペアメントではなく、社会的障壁として捉えるのが「社会モデル」です（石尾純美、2012）。ヘラルボニーでは「障害」を後者の観点でとらえ、その所在を社会に問題提起したいという思いから表現を統一しています。

「障害を持つ」と「障害がある」の違い

障害を持つという表現は、何らかの障害や疾病を患っているその人に障害がある、つまりその人自身が障害を抱えている（持っている）という意味合いになります。一方で、障害があるという表現では、何らかの障害や疾病を患っている人が、社会生活を送る上などで障害が起こる、つまりその人自身に障害があるのでなく（その人が存在する社会や環境に障害がある）という意味合いになります。以上のことから、ヘラルボニーでは後者の観点から「障害がある」という表現を統一しています。

「支援」や「貢献」という言葉は使わない

ヘラルボニーは「従来の福祉領域の振興」を行動指針に掲げていますが、非営利団体ではありません。一常利企業組織として「ビジネス」という手元によって持続的な収益化を実現することで、障害のある方々の社会的な地位の向上と月額平均賃金の上昇を目指しています。このような社会にたいするスタンスが、重要なコープレート・アイデンティティとなっています。

（参考）アール・プリュットとは

「アール・プリュット(Art Brut)」という言葉は、フランスの画家、ジャン・デュビュッフ(Jean Dubuffet 1901-1985)によって考案された言葉で、既存の美術や文化潮流とは無縁の外縁によって制作された芸術作品を指します。フランス語「art brut」が語源で「生の芸術」もされ、芸術的教育・訓練を受けない人が、自身の内面から湧き上がる衝動のままに表現した芸術、芸術的な訓練や影響を受ける環境になかった知的障害者や精神障害者による独創的作品が国内外で注目されています。

海外PR | Artistes et HERALBONY (2024年)

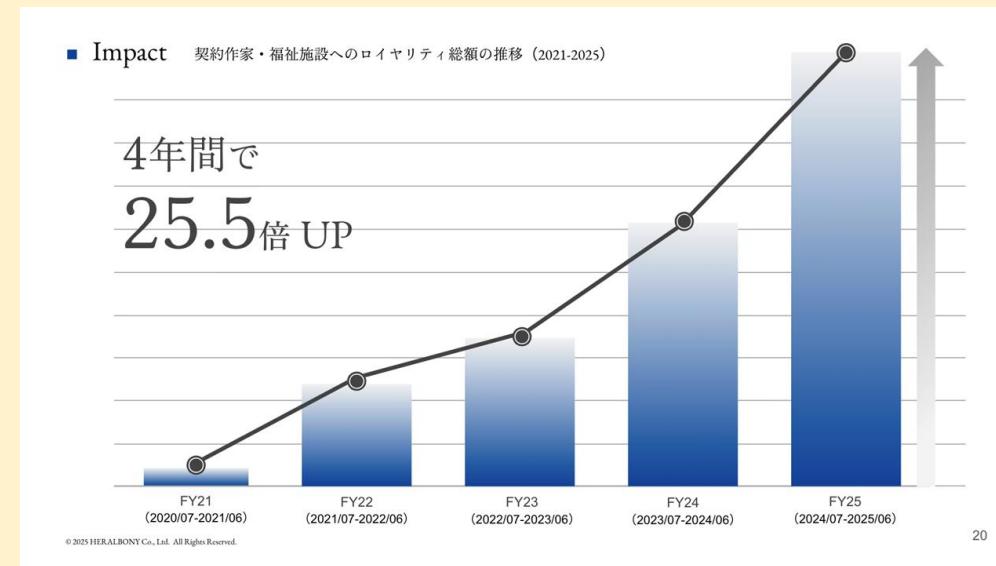
パリ・ファッションウィーク期間に合わせ
マレ地区のアートギャラリーで展示会を開催
現地メディア他、WWD、装苑、マリクレール、Numeroなど



★「言葉」と「ビジュアル」を徹底的にこだわる！

NG	理由	OK	補足
(障害を持つ)	障害は個人の自発的な意思によるものではないため。	(障害)のある	
(知的)障害者	「障害のある人を一括りにする表現があるため。	(障害のある)作家 障害のある人	
障害者アート アウトサイダー・アート	「障害者」や「アート・サイダー」といったマイクロの言葉が強調してしまうため、差別的な表現につながることが懸念されたため。	(障害のある) 作家が他のアート アーティスト	異下部を参照。
(福祉施設)	「福祉施設の利用者と一緒に契約を結んでいる」という事実となる印象を与えるため。 作家はヘラルボニーに所属していないため。	(福祉施設)に 在籍する作家 (ヘラルボニー)の 契約作家	所属ではなく在籍。
支援・サポート 障害(者)自立支援	「支援」や「チャリティー」といった非営利的な文脈が想起されてしまうため。 また「作品を制作してもらう」という表現が強調されると、下級体力が生じてしまうためNGとしています。	アート使用料としてライセンス料をお支払いするビジネスモデルのため 作家や福祉施設に報酬を支払う	アート使用料としてライセンス料をお支払いするビジネスモデルのため

◀講演資料▶



実際に届いた家族からのメッセージ

2021年12月 作家ご家族のmessengerより（一部抜粋）

年明けには所得税の確定申告がはじまりますが、
本年ではヘラルボニーのみなさんのおかげで
息子はXXX万ほど稼ぎ出しました。
扶養の基準を超えており確定申告をすることとなります。
息子に扶養されるという冗談のような話が
現実になる日がくるかもしれませんね。

As the new year begins, the season for filing income tax returns approaches. This year, thanks to the efforts of everyone at Heralbony, my son has earned about ￥ million yen. He has exceeded the dependency threshold, so we will need to file a tax return for him. The joke about being financially supported by my son might actually become a reality one day.

文登さん
今日からが年末年始の休みとなるため、迎えに行きましたら、ヘラルボニーからの高価なグッズが！！
いつも心遣いいただき本当にありがとうございます。
こんなに一杯いたいでいいのかと妻も恐縮しています。

年明けには所得税の確定申告がはじまりますが、本年はヘラルボニーの皆さんのおかげで ほど稼ぎました。

も扶養の基準を超えており確定申告をすることになります。
扶養されるという冗談のような話が現実になる日がくるかもしれませんね。
新年もどうぞよろしくお願ひいたします。

★作業所等の低工賃（社会課題）に対する実践的解答！



© 2024 HERALBONY Co., Ltd.

『講演資料』～障害があってもなくても、ありのままに生きられる社会の実現へ～

ヘルルボニーの目指す未来

HERALBONY Co., Ltd.

世界の市場規模

13 億人

障害のある人の数

世界人口の約15%

Population of People
with Disabilities

約6人に1人

ヘルルボニーが目指す世界

「障害」のイメージを変え、
80億人の異彩がありのままに生きる
社会の実現。

Change society's preconceptions about disability
and create a world where 8 billion people can radiate their colors and
celebrate who they are.

©2023 HERALBONY Co., Ltd.

「異彩」を拡張。
ありのままが肯定される社会へ。

異彩



Bringing uniqueness of all people
toward a diverse and inclusive society



©2023 HERALBONY Co., Ltd.

★ヘルルボニーの活動が共感を生み、社会全体を巻き込む「みんなごと」の変化へつながっている。